

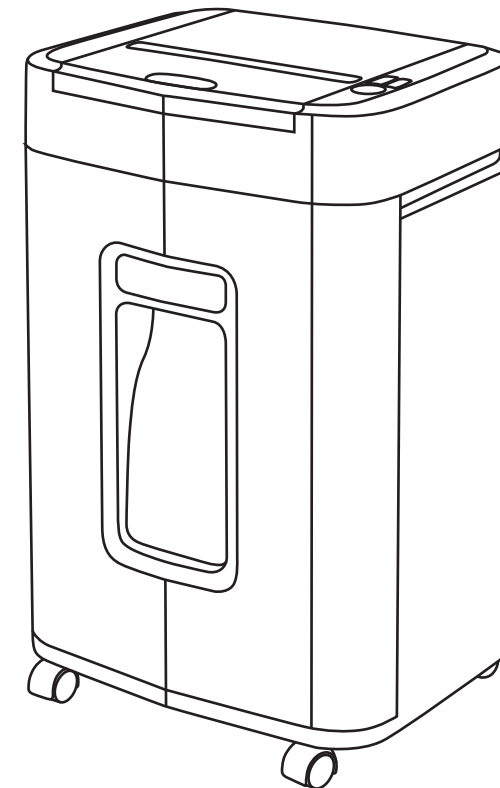
オートフィードシュレッダー

180枚自動細断 ミニクロスカット

AF180CM

取扱説明書

保証書付き



注意



大変危険ですので、お子様には絶対に手を触れさせないでください。

このたびはオートフィードシュレッダー「AF180CM」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(保証書付き)では、本製品の使用方法や安全にお取扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

読み終わった後もこの取扱説明書は大切に保管してください。

目 次

●梱包品の確認	P.2
●使用上の注意	P.3-4
●各部の名前とはたらき	P.5-8
●お使いになる前の準備	P.9
●使用方法	P.10-13
●こんなときは	P.14-15
●お手入れ方法	P.16
●故障かな?と思ったら	P.16
●仕様	P.17
●修理およびアフターサービス	P.17
●保証規定・保証書	P.18

梱包品の確認

- ① マシン本体
- ② 専用ダストボックス
- ③ 取扱説明書(保証書付き)



マシン本体および付属品が揃っていることをご確認ください。
足りないものがあるときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

使用上の注意

安全にご利用いただくために、下記の内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および商品への表示では、商品を正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や物的損害を未然に防止するためいろいろ絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

警告



■大変危険ですので、お子様には絶対に使用させたり、手を触れさせないでください。

マシン内部にカッターがあり、大けがをする恐れがあります。



■大変危険ですので、挿入口や排出口には指を入れないでください。マシン内部にカッターがあり、大けがをする恐れがあります。



■清掃のためなどに、用紙・カード投入口に可燃性のスプレーなどを吹きかけないでください。発火して火災を起こす、または大やけどをする恐れがあります。



■マシン本体をご自分で分解、改造、修理しないでください。感電や思わぬ大けがをする恐れがあります。弊社は記載された条件以外での使用にて生じた故障又は損害などに関しては一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。



■ネクタイ、ネックレス、髪、衣類の袖などが用紙・カード投入口に引きこまれないようにしてください。
・けがをする恐れがあります。
・万が一、引き込まれたときは、【電源 入/切】ボタンを押して、電源を切ってください。そのあと【逆回転】を押して取り除いてください。



■大変危険ですので、用紙・カード投入口をのぞきこまないでください。思わぬ大けがをする恐れがあります。



■大変危険ですので、カッター内部には手を触れないでください。マシン内部にカッターがあり、大けがをする恐れがあります。



■濡れた手で電源プラグを触らないでください。感電の恐れがあります。



■電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源コードの上に重い物をのせたりしないでください。火災や感電の恐れがあります。



■万一発熱したり、煙が出たり、変な臭いがするなど異常な状態になりましたら、使用を中止して電源プラグを抜いてください。火災や感電の恐れがあります。



警告

この表示の警告事項を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う恐れが想定される内容および火災の発生が想定される内容を示しています。



注意

この表示の注意事項を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う恐れが想定される内容および物的損害が発生する恐れが想定される内容を示しています。

注意



■本機はオフィスシュレッダーです。他の目的に使用しないでください。
・フィルム、OHP シート、タック紙、布、ビニールなどコピー用紙・ディスク・クレジットカード以外のものを裁断しないでください。

・指定サイズのステープル、クリップ以外の物は、必ず取り除いてから裁断してください。故障の原因になります。



■本機は重心が高い位置にありますので、転倒に注意してください。水平で安定した場所に設置してください。
・けがをする恐れがあります。
・万が一、操作中に転倒したときは、必ず【電源 入/切】ボタンを押して、電源を切ってください。



■本機の上に物をのせたり、腰掛けたり、乗ったりしないでください。
・けがをする原因になる恐れがあります。



■冷暖房機のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
・火災や感電の恐れがあります。



■本機に水などをかけないでください（防水機能はありません）。
・火災や感電の恐れがあります。



■ダストボックスをマシン本体にセットするとき、ゴミを捨てるとき、お手入れするとき、ご使用にならないとき、移動するときなどは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・けがをする原因になる恐れがあります。

■電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部を持って抜いてください。
・火災や感電の恐れがあります。

■必ずコンセントの近くで本機を利用し、電源プラグが容易に着脱できるように、コンセントの傍に物を置かないでください。



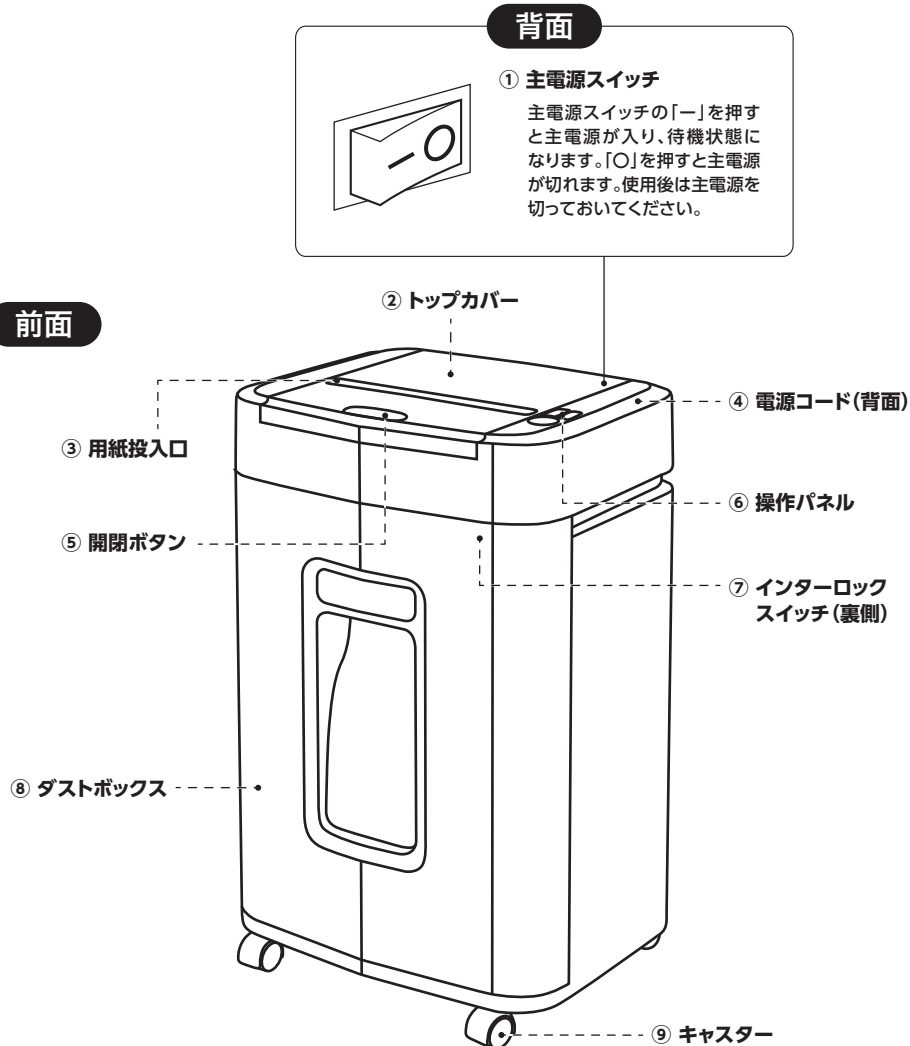
■電源は必ず AC100V 電源をご使用ください（日本国内専用商品）。



■タコ足配線はしないでください。
・火災や感電の恐れがあります。

各部の名前とはたらき

シュレッダー本体



背面

① 主電源スイッチ

主電源スイッチの「-」を押すと主電源が入り、待機状態になります。「O」を押すと主電源が切れます。使用後は主電源を切っておいてください。

② トップカバー

④ 電源コード(背面)

⑥ 操作パネル

⑦ インターロックスイッチ(裏側)

② トップカバー

オートフィードで細断する紙をセットする際に開けます。必ずトップカバーを開けてから細断してください。

③ 用紙投入口

細断する紙を投入します。規定の紙以外の投入は絶対に避けてください。投入口中央付近にあるセンサーを用紙が通過するとカッターが正転作動し、細断を開始します。センサーの前を通過するように用紙を投入してください。

④ 電源コード

AC100Vのコンセントに接続して使用してください。タコ足配線は避けてください。

⑤ 開閉ボタン

「開閉ボタン」を押すと、トップカバーが開きます。万が一の場合は、「開閉ボタン」を押して緊急停止させてください。

⑥ 操作パネル

ボタン式パネルです。電源ボタンや、警告LEDがあります。

⑦ インターロックスイッチ

ダストボックスをセットすることにより、インターロックスイッチが押された状態になります。ダストボックスがしっかりとセットされていない場合(インターロックスイッチが押されていない場合)は、安全のために本機は作動しません。

⑧ ダストボックス

細断くずを収容します。廃棄する際は引き出して細断くずを取り出します。各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。細断くずは溜まりすぎないようにこまめに取り出してください。

⑨ キャスター

前2輪はロック付きです。操作中は絶対に動かさないでください。

主な特徴

オートカットオフ

連続運転を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置すると自動的に停止します。この機能が働けば本機が停止した時は電源を切って電源プラグを抜き、そのまま放置してください。約45分後には再び細断が可能になります。

高速細断

細断速度は、自動細断:約10.7m/分、手動細断:約1.8m/分。自動細断(オートフィード)でA4用紙180枚の細断は、約5分で完了します。

インターロックスイッチ

トップカバー、キャビネットドアが最後まで閉まっていないとインターロックスイッチが働かず、安全のために本機は作動しません。

オーバーヒート防止

連続運転を続けてモーターの温度が上昇した際にこの機能が働き、モーターが停止し、オーバーヒートによる故障を防ぎます。

オートリバース

手差し細断で定格枚数以上の用紙が投入されると、自動的にカッターが逆回転し、紙を押し戻します。その後、用紙を定格枚数以内にして細断してください。

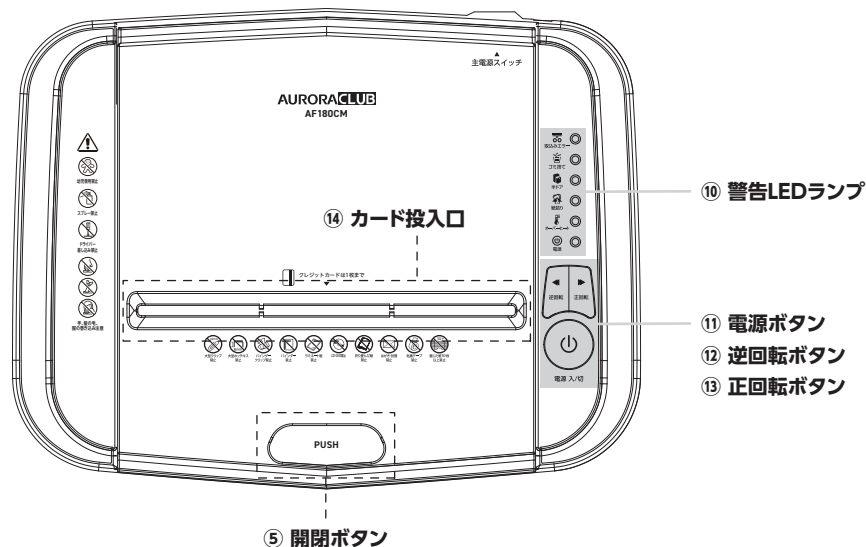


注意

必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に本体を設置してください。

各部の名前とはたらき

操作パネル



⑩ 警告 LED ランプ



自動給紙トレイの紙が取込みエラーが起こったときに点灯します。



細断ゴミがダストボックスにいっぱいになると点灯します。



トップカバー、キャビネットドアが正しく閉められていないときに点灯します。



用紙が詰まったときもしくは投入口に細断物が残っているときに点灯します。



長時間連続裁断でモーターの温度が上昇したときに点灯します。点灯した場合は約45分休止してください。

⑪ 電源ボタン

電源ボタンを押すと電源がオン・オフになります。
【電源LED】
◆青い点灯：電源オン
◆消灯：電源オフ

⑫ 逆回転ボタン

電源オンの状態で逆回転ボタンを押し続けると、カッターが正転と逆方向に作動します。紙詰りの際などに使用します。停止後はオートモードに戻ります。

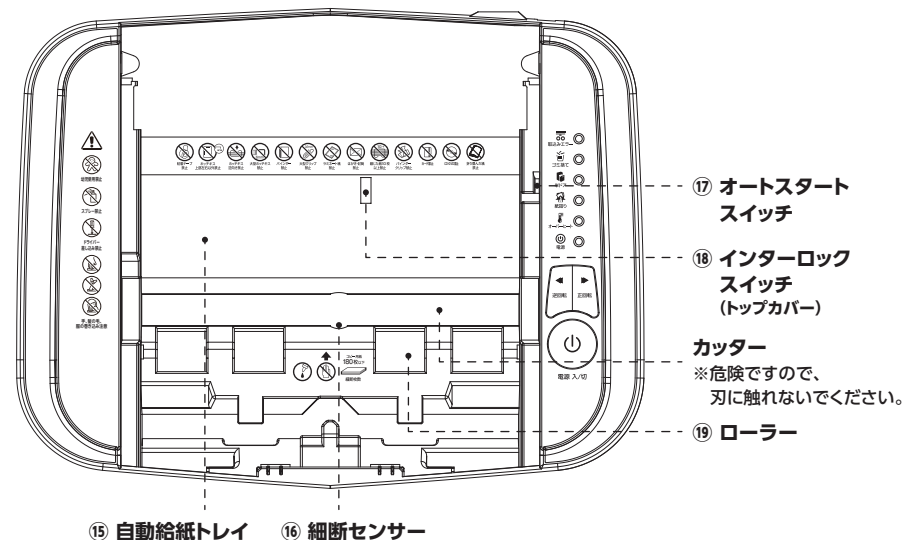
⑬ 正回転ボタン

電源オンの状態で正回転ボタンを押し続けると、カッターが正転に作動します。停止後はオートモードに戻ります。

⑭ カード投入口

クレジットカードなどのカードを投入します。規定素材のカード以外の投入は絶対避けてください。細断センサーの前を通過するように細断物を投入してください。

トップカバー内部

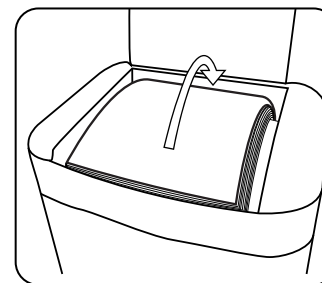


⑮ 自動給紙トレイ

自動細断(オートフィード)で細断するA4用紙をセットします。
※手動細断と同時に使用はできません。

オートフィード裁断方法

オートモードで裁断する際は上部部分にA4用紙の上部3分の1程度を湾曲させ、置いてください。その後トップカバーを開けて裁断を行います。



A4用紙セットイメージ

⑯ 細断センサー

細断物が細断センサーの前を通過するように投入とカッターが正回転作動し、細断を開始します。

⑰ オートスタートスイッチ

自動給紙トレイにセットした用紙を感知します。

⑱ インターロックスイッチ(トップカバー)

トップカバーが最後まで閉まっていないとインターロックスイッチが働かず、安全のために本機は作動いたしません。トップカバーを最後まで閉めてください。

⑲ ローラー

自動給紙トレイにセットした用紙を取込みます。

お使いになる前の準備

本機の紙類・カードの細断専用機です。

※はがき、OHPシート・新聞紙・カーボン紙・感熱紙・ポリ袋・布・ビニール・フィルムのほか、ラベル用紙・シールなどの糊のついたものは投入しないでください。

細断能力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

投入口	摘 要	カットタイプ	細断枚数
自動給紙トレイ	A4コピー用紙(64g/m ²)	ミニクロスカット (4×12mm)	綴じていない用紙約180枚
手差し用紙投入口	A4コピー用紙(64g/m ²)		定格枚数10枚 最大枚数(1回)12枚
カード投入口	カード(厚さ0.2~0.8mm) ※プラスチック製のみ対応		1枚

※紙質や湿度などにより細断枚数は異なります。

※用紙・カード投入口(A4サイズ)より大きな紙を細断する場合は、投入口より小さい幅に折ってから細断を開始してください。(規定枚数を超えないようにしてください。二つ折り/1枚=2枚)
(オートフィード(自動給紙細断)は折りたたんだ用紙は対応していません。)

使用上の注意とお願い

規定以外のものは
入れないでください。

※金属や衣類は、カッターに損傷を
あたえ、故障の原因となります。

湿った紙やカーボン紙、シールの
ついた紙は入れないでください。

※カッターに細断クズがからまり、
細断性能を低下させます。

ダストボックスに、
ビニール袋や紙袋等をかけて
使用しないでください。

※本体がしっかりセットされず、正常
に動作しない場合があります。

必要以上に逆回転
させないでください。

※細断クズが投入口にたまり、
故障の原因となります。

使用後は必ず電源プラグを
抜いてください。

ダストボックスが最後まで
閉まっていない状態では、
安全装置により本機は作動
いたしません。

必ず規定枚数・連続運転時間を
守ってご使用ください。

※モーターを傷めたり、故障の
原因となります。



	オートフィード 綴じていないA4用紙	手差し 用紙	カード
規定枚数	約180枚	10枚	1枚
最大枚数(1回)		12枚	
連続運転時間	約60分	約30分	



分解、修理、改造をしないでください。
■感電やけがをすることがあります。

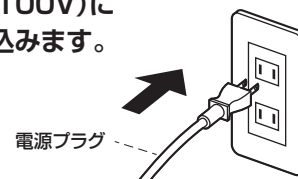
使用方法

電源を入れる



- 必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に設置してください。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグとコンセントの間にタップなどを使用しないでください。
タコ足配線などで定格を越えると、発熱して火災の原因になります。

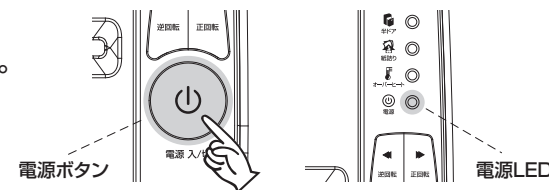
- ① 電源プラグをコンセント
(AC100V)に
差し込みます。



- ② 背面の主電源スイッチ「-」を押し、
主電源をONにします。



- ③ 「電源ボタン」をタッチし、
電源LEDを点灯させます。

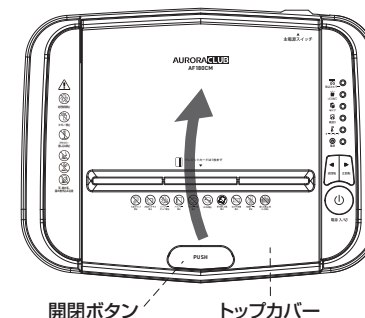


オートフィード(自動給紙細断)モード

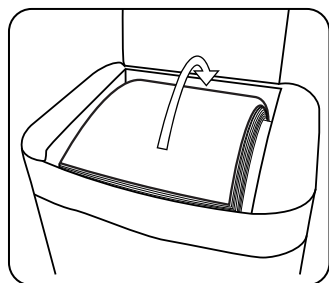
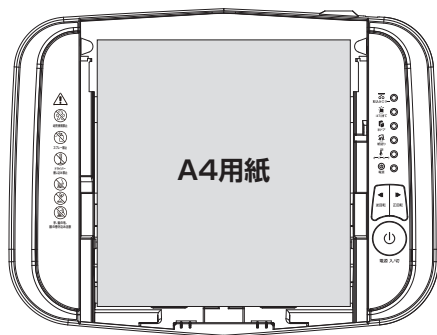
オートフィード(自動給紙細断)で
細断できないもの



- ① 開閉ボタンを押し、
トップカバーを開けます。



- 2** 自動給紙トレイにA4コピー用紙をセットします。
(A3用紙を細断する場合は、手差しで細断してください。)



A4用紙セットイメージ

用紙をセットするときの注意事項

- ❌ ホッチキスの針の隙間を上向きにしてセットしたり、大型ホッチキスを投入しないでください。



ホッチキスの向きに注意し、6mm以上の大型ホッチキスは投入しないでください。

- ❌ ホッチキス・クリップエリアにホッチキスの針、クリップが入るようにセットしてください。

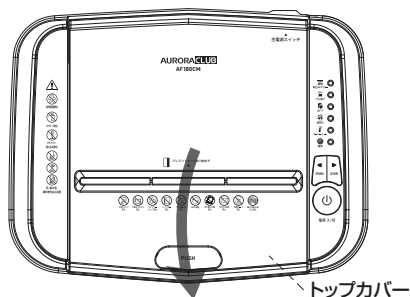


ホッチキスの針・クリップで綴じた書類は金具部分がホッチキス・クリップエリア内に入るように、向きに注意してセットしてください。

⚠️ 注意

- 定格細断枚数以上セットしないでください。
 - A4サイズより小さい用紙はA4サイズの用紙の間に挟んでください。
 - 用紙が用紙枚数上限タブを超えないように注意してください。
 - 手差し投入細断と同時使用はしないでください。
 - ディスク類、カード類は細断できません。
- 手差し投入細断で細断してください。

- 3** トップカバーを閉めます。
細断が自動で開始されます。

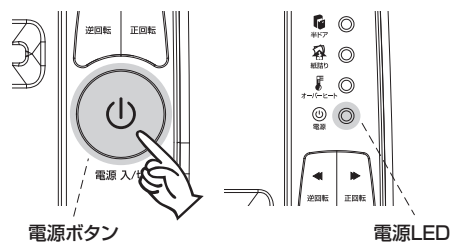


トップカバー

⚠️ 注意

トップカバーが正しく閉められていないと、警告ランプの「半ドア」が点灯し、細断が開始されません。

- 4** 細断が終わったらカッターが停止します。電源ボタンを押して電源をオフにしてください。
(電源LEDが消灯します。)



電源ボタン

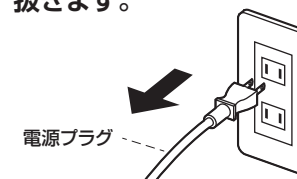
電源LED

- 5** 主電源スイッチをオフにします。



<背面>
主電源スイッチ

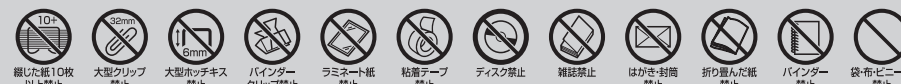
- 6** 電源プラグをコンセントから抜きます。



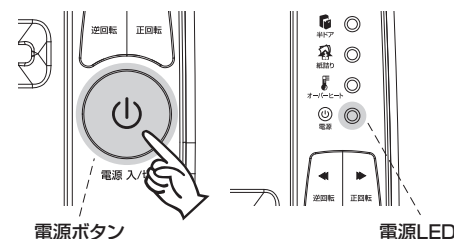
電源プラグ

手差し細断モード(コピー用紙)

手差し細断で細断できないもの



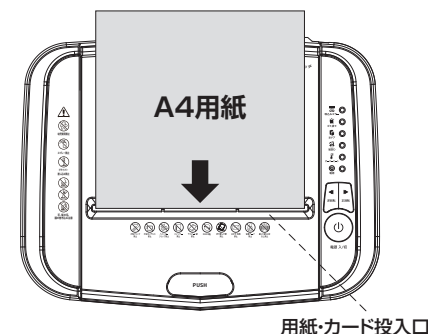
- 1** 「電源ボタン」をタッチし、電源LEDを点灯させます。



電源ボタン

電源LED

- 2** 用紙投入口に細断する用紙を真っ直ぐに入れます。

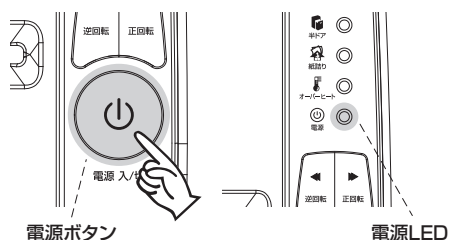


用紙・カード投入口

⚠️ 注意

- 細断された紙やカードは同じダストボックスに溜まります。ゴミの分別が必要な場合は細断する前にダストボックスを空にしてください。
- カッターの真ん中にある細断センサーが感知できるように、真っ直ぐ入れてください。
- 定格細断枚数を超えないようにしてください。
- オートフィードとの同時使用はしないでください。
- カードなどは用紙投入口から細断できません。

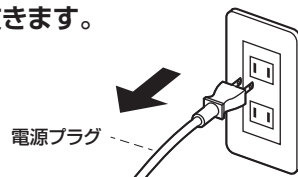
- ③ 細断が終わったらカッターが停止します。電源ボタンを押して電源をオフにしてください。
(電源LEDが消灯します。)



- ④ 主電源スイッチをオフにします。

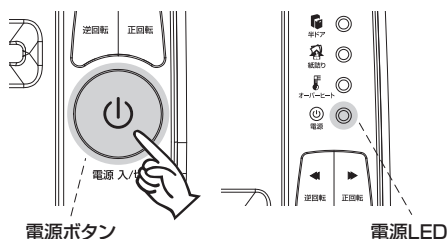


- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜きます。

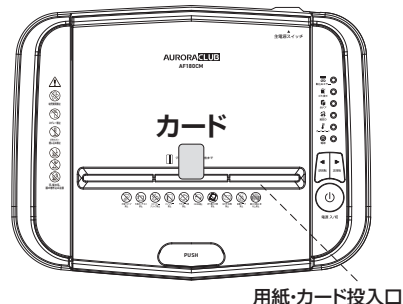


手差し細断モード(カード)

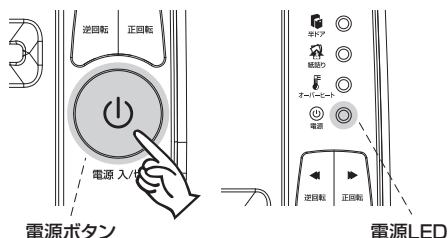
- ① 「電源ボタン」をタッチし、電源LEDを点灯させます。



- ② 用紙・カード投入口にカードを1枚ずつ真っ直ぐに入れます。



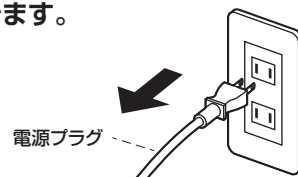
- ③ 細断が終わったらカッターが停止します。電源ボタンを押して電源をオフにしてください。
(電源LEDが消灯します。)



- ④ 主電源スイッチをオフにします。



- ⑤ 電源プラグをコンセントから抜きます。



こんなときは



紙詰りが起きた時

ご使用状況により紙詰りが起きると、紙詰りの警告LEDランプが点灯し、カッターの回転が止まります。

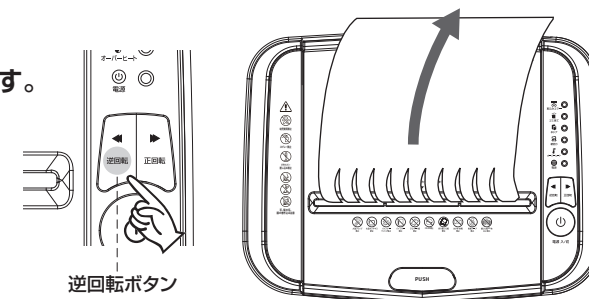


注意

- 頻繁に正回転・逆回転を繰り返さないでください。
 - 紙詰りを起こしたままの状態では置かないでください。
- ※モーターに負担がかかり、故障の原因になります。

手差し投入細断

- ① 逆回転ボタンを押して詰まった紙を引き出します。



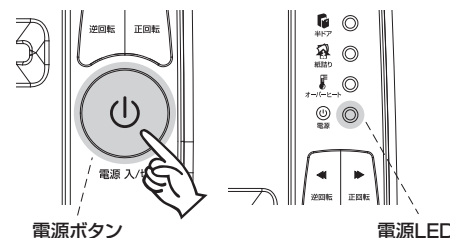
注意

逆回転時に、以前細断した用紙が出てくる場合がありますが、製品の異常ではありません。

- ② 紙詰りの警告LEDが消灯したら、用紙を用紙投入口に入れて再び細断を開始してください。

オートフィード(自動給紙細断)

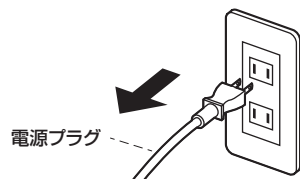
- ① 電源ボタンを押して電源をオフにしてください。



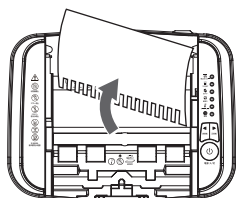
- ② 主電源スイッチをオフにします。



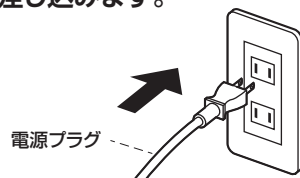
- ③ 電源プラグをコンセントから抜きます。



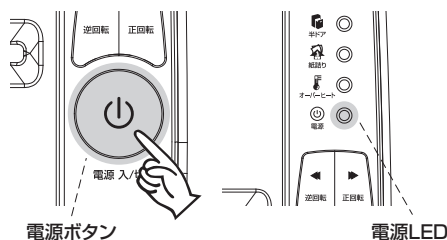
- ⑤ 詰まった紙をできる限り取り除きます。



- ⑦ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

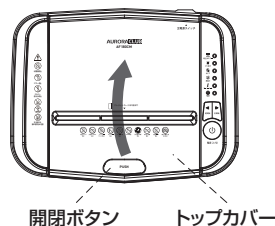


- ⑨ 電源ボタンを押して電源をオンにします。

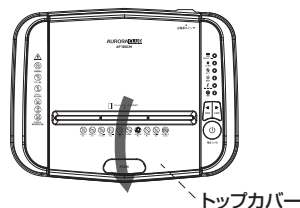


- ⑪ 紙詰りの警告LEDが消灯したら、用紙を自動給紙トレイに入れて再び細断を開始してください。

- ④ 開閉ボタンを持ち上げてトップカバーを開きます。



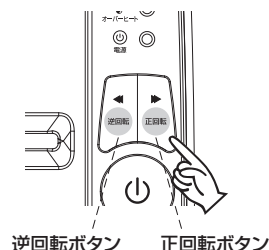
- ⑥ トップカバーを閉めます。



- ⑧ 主電源スイッチをオンにします。



- ⑩ 正常に作動するまで逆回転ボタン、正回転ボタンを交互に押し、カッターを動かします。



お手入れ方法

マシン本体や専用ダストボックスが汚れたときは、柔らかい布でから拭きしてください。お手入れはマシン本体の外側樹脂部と専用ダストボックスだけにしてください。分解などをしますと感電や思わぬけがをする恐れがあります。

電源コードは柔らかい布でから拭きしてください。濡れた布で拭きますと火災・感電の恐れがあります。

汚れがひどいときは、中性洗剤をごく少量だけ布につけて拭いてください。清掃のためなどに、用紙・カード投入口に可燃性のスプレーなどを吹きかけないでください。シンナー、ベンジンなどは変色、変形、傷などの原因になりますので使用しないでください。

シュレッダーの逆流詰まりを防ぐため細断の最中に下記を行うようにしてください。

- シュレッダーされた細断くずは専用ダストボックスに山の形状で積み上げられます。そのまま続けてしまうと逆流詰まりの原因となってしまうため専用ダストボックスの細断くず容量が半分以上の場合は定期的に専用ダストボックスを揺らすなどして細断くずを平らにしてください。
- 紙を重ねて投入口に投下した場合はシュレッダー本体裏部の刃に細断くずが貯まりやすくなりシュレッダーの逆流詰まりの原因となってしまうため、定期的に紙を1枚で投下して細断くず貯まりを解消させてください。

故障かな?と思ったら...



注意 点検の際は、主電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントからぬいてください。感電やケガをすることがあります。

状況	調べるところ	直し方
動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか?	電源プラグを正しくコンセントに入れ直してください。
	背面の主電源スイッチが「○」側になっていませんか?	背面の主電源スイッチが「ー」側にしてください。
	細断物が投入口中央付近のセンサーを通過していますか?	投入口中央付近にあるセンサーが感知できるようにまっすぐに投入してください。
	ダストボックスがしっかりと閉まっていますか?	ダストボックスが最後まで閉まっていないと安全装置が働き作動しません。最後まできちんと閉めてください。
	紙詰りを起こしていますか?	逆回転ボタンを押し、詰まった紙を取り除いてください。
細断中に止まったまたは細断できない	長時間の仕様により、オートカット機能が動いていませんか?	連続運転時間(オートフィードモード約60分、手差し約30分)を超えて細断したり、紙がかみこんだ状態で放置すると、オートカットオフ機能が働いて停止します。電源プラグを抜き、45分ほどそのまま置いてください。再び細断を再開できます。
	紙を多く入れすぎではありませんか?	定められた枚数以下にして細断してください。
	投入口の幅より大きな紙を入れていませんか?	投入幅口の幅より小さな紙で細断を行ってください。
	紙が斜めに挿入されていませんか?	投入口に細断物を、それぞれの投入方法に合わせてまっすぐに挿入してください。
	クリップ・ピンなどをかみこんでいませんか?	一度逆回転させた後、電源を切り、電源プラグを抜いて、本体を逆さまにするなどして取り除いてください。

※点検後、なお異常がある場合は販売店までご連絡ください。

仕 様

細 断 物	A4コピー用紙・カード
細 断 形 状	コピー用紙:4×12mm ミニクロスカット カード:4×12mm ミニクロスカット
挿 入 口 幅	220mm
定 格 裁 断 枚 数 ^{※1}	A4用紙:180枚(オートフィード)、10枚(手動細断)、 カード:1枚
最 大 裁 断 枚 数	A4用紙:12枚(手動細断)
細 断 速 度	オートフィード:約10.7m/分、手動細断:約1.8m/分
連 続 運 転 時 間	オートフィード:約60分、手動細断:約30分 ※45分休止後再運転可
モ ー タ ー の 音 量	空転時:約50dB、細断時:約52dB
電 源	AC100V 50-60Hz
消 費 電 力	300W
ダストボックス容量	約24L
本体サイズ・重量	W366×D287×H580mm・12.2kg

※1:連続運転時間内において連続して同時に細断できる枚数。

※紙質や湿度などにより細断枚数は異なります。

修理およびアフターサービス

- 保証書はこの取扱説明書に印刷されております。
記入事項と保証規定をご確認の上保存してください。
- 修理依頼される前には、電源の状態および操作方法が間違っていないかを
よくお調べください。
- 修理のときに一部代替品を使わせていただくことや修理が困難な場合には
修理せずに同等品と交換させていただくことがあります。
- 修理およびアフターサービスについては、お買い上げの販売店または
オーロラ技術サポート相談室にお問い合わせください。

技術サポート相談室

オーロラジャパン株式会社

商品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

03-3369-6174

(午前 9:30～12:00 午後 13:00～17:00) (土・日・祝日・年末年始・夏季休暇等は除く)

保証規定

- 1.取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合は、弊社所定の方法無償修理、または同等品と交換させていただきます。保証書を本製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2.保証期間内でも、次のような場合は有償修理になります。
 - ①誤用、乱用および取り扱い不注意による故障
 - ②火災、地震、水害および盗難などの災害による故障
 - ③不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
 - ④お客様による輸送・移動中の衝撃による故障
 - ⑤渡や中古販売、オークション、転売などでご購入された場合
 - ⑥使用中に生じた傷などの外観上の変化
 - ⑦保証書の提示がない場合および必要事項(お買い上げ日、販売店名)の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
- 4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5.本製品を使用中に発生した書類やデータなどの消失、または破損についての補償はいたしかねます。
- 6.本製品は人命に関わる設備や機械、および高度な信頼性を必要とする設備や機械・システムなどへの組込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使われ、人身事故、社会的障害などが生じてても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

保証書

この保証書とお買い上げ時の販売証明書またはレシートを保管してください。
お買い上げ時の販売証明書またはレシートの日付から1年間保証いたします。
お買い上げ時の販売証明書またはレシートがない場合は保証いたしかねますので予めご了承ください。

販売証明書(またはレシート)貼付欄

保証期間(本体)		お買い上げ日より1年間	
お買い上げ 年 月 日	年 月 日	品名/オートフィードシュレッダー	型番/AF180CM
※●お客様	ご住所 □□□-□□□□		
	電話 ()		
	お名前 様		
※●販売店	住所・店名・電話		
※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。			

輸入販売元

オーロラジャパン株式会社

東京都新宿区西新宿8-12-1

MADE IN CHINA